

# 日本司法福祉学会 ニュース

No.34

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1 鈴鹿医療科学大学 藤原正範研究室気付  
Tel : 059-383-9208 (内線2407) Fax : 059-383-9666

## 日本司法福祉学会全国集会 第15回大会（大阪大会2015）のご案内

### 第15回大会のご案内

実行委員会事務局長 古川隆司（追手門学院大学）

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

第15回大会は、追手門学院大阪城スクエアと大手前中高等学校を会場に開催致します。会場のある大手前地区は大阪府庁など官公庁の集まる場所ですが、古来大阪の文化を培ってきた上町台地にあり、会場から大阪城を望むことができます。上町台地は難波宮や四天王寺がおかれ、古代日本の玄関口でありました。また近世には豊臣秀吉によって大坂城が造営され、大阪の陣で勇名を轟かせた真田幸村終焉の地です。江戸期を代表する浄瑠璃作家の近松門左衛門も居を構え、同時に、四天王寺の悲田院にはじまる日本の医療や福祉の原点に触れる場所でもあります。

第15回大会のテーマは「子どもと暴力」です。近年、子どもの貧困が社会問題として注目されると同時に、深刻な児童虐待や相次ぐ学校でのいじめ事件もクローズアップされています。このような子どもの生命や尊厳に加え、発達障害を含む特性に対する理解や、子どもをとりまく環境の改善はさまざまな課題を抱えているのではないのでしょうか。折しも児童の権利条約が国連総会で採択されて25年を迎える今年に開催する本大会は、司法と福祉がどのように対策とプログラムを構想し、「大人」としてどんなケアが可能なかを考える機会として頂きたいと思っております。

現在実行委員会は、学会理事の佐々木光明実行委員長（神戸学院大学）のもと、遠藤洋二理事・前田忠弘理事はじめ実務・研究・教育に携わる関西の会員とともに準備に取り組んでおります。パネル展示という新たな試みも取り組みますが、夏本番を迎えます中、皆様方のご参加をお待ちしています。

### 大会概要

**日時** 2014（平成26）年8月2日（土）、8月3日（日）

**会場** 追手門学院大阪城スクエア  
追手門学院大手前中高等学校

**テーマ** 「子どもと暴力」

#### 日程

##### 第1日 8月2日（土）

10時～12時 プレ企画

「講演 子どもの暴力に向き合う——韓国での取り組み」

講師 Chun, Jong-Ho（チョン ジョンホ）氏  
（釜山家庭法院部長判事）

13時～13時10分 オープニングセレモニー

13時10分～16時30分 大会シンポジウム

「子どもの暴力が意味するもの——司法福祉の視座」

13時10分～17時 パネル展示

16時45分～17時30分 日本司法福祉学会総会

18時30分～ 懇親会

##### 第2日 8月3日（日）

9時～12時 自由研究報告

13時30分～16時30分 分科会

#### 分科会企画の募集

##### (1) 申込方法

次の事項を記載した企画書を、大会事務局に送付のこと（4月25日〔金〕13時メ切）。メールの題目に「第15回大会分科会」と加えること。

- ①企画者の氏名・所属・連絡先
- ②企画の名称
- ③企画の概要（400字以内）
- ④論者（話題提供者・シンポジスト・指定討論者等）の氏名・所属（未確定部分があっても可）

##### (2) 採択基準

- 1) エントリー資格
- ①企画者は学会会員であること。
- ②登壇者に非会員を含む場合は、第1報告者が学会会員であること。

と。また非会員へ入会を勧奨すること。

2) 内容

- ①企画趣旨が明確であること。実践報告では報告内容の倫理的配慮が図られていること。
- ②企画内容は、実行委員会企画の分科会と重ならないこと（※大阪大会実行委員会として「子どもと暴力」に関する分科会を企画予定）。
- ③エントリーされた分科会のテーマ・内容で重複がある場合は実行委員会により調整を求めることがある。

3) 形式

- ①本学会の研究倫理指針に則ること。
- ②エントリーした企画内容から逸脱しないこと。

4) 費用

- ①登壇者に対する費用は企画者が負担すること。ただし実行委員会企画の分科会は除く。

**自由研究報告の募集**

(1) 申込方法

次の事項を記載した企画書を、大会事務局に送付のこと（4月25日〔金〕13時メ切）メールの題目に「第15回大会自由研究報告」と加えること。

- ①報告者の氏名・所属・連絡先 ②自由研究の題目
- ③報告の概要（400字以内）

(2) 採択基準

1) エントリー資格

- ①学会会員であること。
- ②共同研究で非会員を含む場合は、第1報告者が学会会員であること。また非会員へ入会を勧奨すること。

2) 形式

- ①研究目的・方法・倫理的配慮・結論が整っていること。
- ②本学会の研究倫理指針に則り、また学会誌投稿・執筆諸規定に準じること。

**パネル展示の募集**

(1) 企画趣旨

本学会に関係する司法・福祉の諸活動を紹介するコーナーとして、情報交換の機会を設けます。

(2) 申込方法

次の事項を記載した企画書を、大会事務局にメール送信のこと（4月25日〔金〕13時メ切）。メールの題目に「第15回大会パネル展示」と加えること。

- ①報告者の氏名・所属・連絡先 ②自由研究の題目
- ③報告の概要（400字以内）

(3) エントリー資格

- ①学会会員がメンバーで、実行委員会が承認したもの。
- ②学会会員が推薦し、実行委員会が審査・承認したもの。

(4) 内容

- ①組織・団体の活動を紹介するもの。
- ②ポスター展示及び資料の配布のみ（販売や署名活動は認めません）。

(5) 実施形式

- ①指定するサイズのポスター展示を中心とする。
- ②展示中は必ず誰かが常駐すること。
- ③掲示場所は実行委員会が割り振り、掲示・撤去は責任者が必ず行うこと。

**大会事務局**

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1-15  
追手門学院大学社会学部 古川隆司  
e-mail: furukawa@res.otemon.ac.jp

**会員の皆様へ重要なお知らせ**

2014年4月1日より、学会事務局が移転します。移転先は次のとおりです。

◎学会本部事務局

360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700 立正大学社会福祉学部  
村尾泰弘研究室  
vys01503@nifty.com

◎学会事務委託事務局

162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター  
(株式会社国際文献社)  
Tel.03-53896491 Fax.03-3368-2822 (但し4月1日より)

今後、会員の所属・住所等の異動についてのご連絡、会費の納入や会費に関するお問い合わせは、委託事務局国際文献社（アカデミーセンター）にお願いします。本年3月20日以降は、前事務局の郵便振替口座、ゆうちょ銀行口座への入金はいしなうお願いします。

**2013年度第2回理事会（2014年2月11日）の報告**

1. 2014年4月1日より、学会事務局長を村尾泰弘（立正大学）、学会誌編集委員長を藤原正範（鈴鹿医療科学大学）とする。本部事務局は立正大学熊谷キャンパスに置く。委託事務局を国際文献社（アカデミーセンター）とし、会員管理・会計事務一部を業務委託する。事務局事務の委託に要する費用は、国際交流基金を取り崩して対応する。
2. 2015年度より、会費を2000円上げて7000円とする。入会費、学生用会費（2000円）は据え置く。2014年度総会（追手門学院スクエア）において、会費値上げについて会員に理解を求める。
3. 2015年度全国大会は、早稲田大学で開催する。
4. NOFSWのニューヨーク大会（2014年7月）に参加する会員には、10万円（参加者全員分）を限度で国際交流基金より補助する。
5. 日本学術会議協力学術団体への登録、一般社団法人化について、その実現の可否についての検討を継続する。

◎2014年3月1日現在の組織状況

- ・会員数 396名
- ・申請中の者 8名
- ・2013年度末で退会する会員 5名
- ・3年以上会費未納入により2013年末で除籍が予定されている会員 11名